



映画『記憶』 上映と トークライブ

日時：2020年6月27日（土）13:30～16:30（開場13:00）

会場：上尾市文化センター 小ホール

埼玉県上尾市二ツ宮750番地

※地図は裏面参照

・JR上尾駅東口から 徒歩約15分／東口から朝日バス「上尾市文化センター前」下車

第1部 映画上映

『記憶』

少年院の少女たちの未来への軌跡

少年院在院中の少女たちの赤裸々な過去、現在、そして未来……。

自らも少年院出院者である中村すえこさんが監督した、少年院少女たちと女子少年院の1年に及ぶ話題のドキュメンタリー。

第2部 トークライブ

中村すえこさん（監督）

金子陽子さん（元少年院長）

渡辺和敏さん（保護司）

少年の立ち直りに何が必要か。映画を通して伝えたいこと、社会に求められていることを、監督・関係者が語り合います。

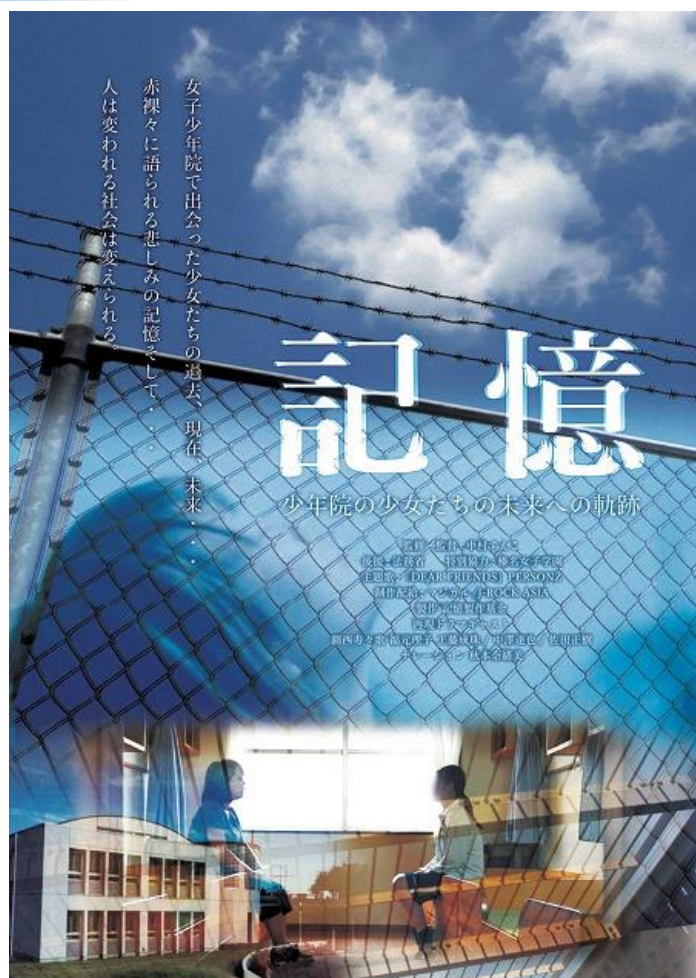
●参加費 無料

※新型コロナウイルス感染症対策をとって開催します。裏面の「お願い」をご確認ください。

- ・事前のお申し込みが必要です。裏面の申し込み方法をお読みになってください。
- ・申し込み〆切。6月24日（水）。ただし、定員になりましたらその時点で〆切といたします。定員80名。

※問い合わせ 03-5348-6996（NPO法人非行克服支援センター）

当イベントは埼玉県（担当課：県青少年課（電話048-830-2904））の主催事業です。



ドキュメンタリー教育映画『記憶』とは

2018年2月 女子少年院の退院式からカメラは回りはじめる。中村すえこが4人の少女に話を聞いた。2歳の時から乳児園に入り犯罪を犯すまで施設で生活をした佳奈（仮名）、母子でドラッグに頼り窃盗で生活を賄いその後逮捕された沙羅（仮名）、容姿コンプレックスからホストにはまりDVを受けた美和（仮名）、家庭関係や友人関係の綻れから美人局で逮捕された遥香（仮名）とそれぞれの記憶を紐解いていく。現代の少女が抱える複雑な事情や背景が語られていく。少年院での生活や過去の反省、将来の夢や希望。少女たちの赤裸々の言葉が胸を打つ。1年間に及ぶ少女たちと女子少年院のドキュメンタリー。（110分）

君は決してひとりじゃない。

同じような経験をして頑張っている仲間もいることを知ってもらいたい。

この映画は社会を変えていくためにつくります。生きづらさを抱えている少年・少女を理解し、立ち直りを支援できる社会になることが一番の目的です。

具体的には、関係者はもちろんですが、学校などの教育関係と司法、福祉、教育を学ぶ人たち、また、一般の方にも多くみてもらいたいです。

そして、いま、まさに生き辛さを抱えている人に君は決してひとりじゃないことを伝えたい。

そして人は変わる、社会は変えられるということ
とを多くの人に知ってもらいたい。〔中村すえこ〕



会場へのアクセス

<JR高崎線上尾駅東口から> 徒歩約15分

<JR高崎線上尾駅東口から 朝日バス>
「東大宮駅行き」「がんセンター行き」「伊奈役場行き」
いずれも「上尾市文化センター前」下車

<駐車場> 約260台(無料)

新型コロナウイルス感染対策への協力をお願い

- ・参加者は、マスクの着用をお願いします。
- ・「密」状態を避けるために、座席は隣り合わせにならないようにします。
- ・熱のある方、体調のすぐれない方は参加をお控えください。
- ・主催者の運営にご協力をお願いいたします。

参加申込書

郵送・FAX・メール・電話でお申し込みください。FAXの場合は、切り取らずにこのままお送りください。定員に達した場合は、電話でご連絡いたしますので、書き間違いないようにお願いします。

| | | | |
|---------------------|----------------------------------|--|--|
| フリガナ 名前 | | | |
| 住所 | | | |
| 電話 (連絡の取り やすい番号) | メールアドレス | | |
| お立場 ○を | ・当事者 ・親、家族 ・支援者 () ・教師 ・学生 ・その他 | | |

申し込み・非行克服支援センター／〒169-0073 東京都新宿区百人町1-17-14 コーポババ21

電話 03-5348-6996 FAX 03-5337-7912